

日常会話における「状況づけられた語り」

臼田泰如 (国立国語研究所 研究系)

usuda@ninjal.ac.jp

「状況づけられた語り situated telling」：

- 状況に基づいて開始され、構築される語り
 - 状況と結びつけて語ることでなにをしようとしているのか
 - どのような仕方で状況と結びつけているのか

cf. セカンドストーリー (Sacks 1992 I)：

- 先行する語りに「触発されて」開始される語り
- 類似の経験を語る：基本的にはaffiliativeなふるまい

データ 2 [会話 ID: T018.004 943.395 秒-944.063 秒]

1 IC02 (な [かな] うーん。
 2 IC01 [そっか:。
 (0.5)
 3 IC02 でも 日本では (なかな) その制度 (。
 4 あの (0.3) (え) (0.4) 女性を働か () のうちの保育士の 母 保母ですけど:
 (0.5)
 5 あの: なんか昔テレビで: (0.6) 女性がけん- あの 研究職で: 男性がトヨタの (0.5)
 6 あの: なんだっけ 技術職の人がいて: 結婚した時 女性ももう 研究職とで上げえ
 7 大成し (そう) だから: 男性が トヨタ辞めちゃったって話があったんすけ [ど:。
 8 IC01 [うん。
 9 IC02 (0.3) うちの親 それすげえ否定してましたからね 男性が (働か) ないとおかしいっ
 て。
 (0.5)
 10 IC01 だ それ 理由 でも 理由はないじゃん 別にさ [なんとなく感覚でしょ?
 11 IC02 [はい 感 [覚で
 12 IC01 [うん。
 13 IC02 そう (反対) してるんす [けど:
 14 IC01 [だって別に:
 15 IC02 はい。

データ 1 [会話 ID: S002.007 1965.261 秒-2008.600 秒]

1 IC05 あん [まりわかんない [って [ね:(言いますよね:。
 2 IC02 ([あ [::。
 3 IC01 [でも [でも この [前: 俺 池袋で (。
 4 IC04 [ね: 最近 だって みんな飲まない
 5 IC01 [え あの ベルギービールの店があるんですよ。=
 6 IC04 [ってゆうじゃないっすか。
 7 IC03 =へ [::。
 8 IC01 [で:もう大好きでよく行くんだけども そこも四月に新入社員が入った
 9 らしく [て
 10 IC03 [うん
 (0.5)
 11 IC01 初めてのなもんで すいません (0.4) [えっと:ってゆって。
 12 IC03 [huhuhuhu
 (0.3)
 13 IC01 あの それって でも 普通の栓抜きのやつだから (0.2) 開けるだけなのね。
 14 IC03 うん。
 15 IC01 で そのあと
 (。
 16 IC04 あ ほんと かけたら お [いしいっすよ。
 17 IC01 [三人で m [ピックポ [トルを割るから [ついでく。
 18 IC02 [え?
 19 IC04 [か- 辛いのお [いしいっすよ。
 20 IC03 [あ::[::。
 21 IC02 [辛いのお [おいしい。
 (。
 22 IC03 うん。
 (0.3)
 23 IC01 もうね (。) あの 一人目 泡だけ。
 24 IC03 aha[hahahaha
 25 IC01 [hehe
 26 IC04 [ん でも ちょっと薄いです。
 27 IC01 [で二人目がすげえうまうまいてって (。) [三人目は (0.2) なん (で)か 知らない (けど
 28 IC02 [なら これ。
 29 IC01 すごい) 底のほうに溜まった灘だけってゆう (。) すごい面白い状況になって。
 30 (。) 申し訳ございませんって言われても申し訳ございませんじゃねえだろうこれ
 31 って思ったもん。
 (0.4)
 32 IC03 hhha[hahaha
 33 IC01 [とゆうのは あった。
 34 IC03 .h [hh
 35 IC02 [ん?
 36 IC05 [ね: ちよつとというか。
 37 IC03 [え 一番おいしいやつ 飲みたいですよ?

- レストランで食事中、経験の浅いスタッフがワインの開栓に失敗し (データ外)、次の注文の際、バックヤードで開けてくる旨を申し出て立ち去る
- その直後 (断片の直前)、当該スタッフのありうる失敗についての冗談を言い合う
- 4: 1の話題と対比的な語りの開始
- 5, 9-10, 12: その場の状況に関連した経験、状況に関連することから
- 16, 18, 23: 背景 -> 出来事
- 25: パンチラインの開始, 26反応
- 29, 31-32: パンチラインの続き, まだ終わらない
- 33-34: 出来事に対する語り手の (その時点での) 反応, 笑うべきところ

34末「もん」：

- 理由を表すマーカー：マークする部分が何かの理由として示されている
- なんらかの主張に対して、この語りがそれを裏付ける理由・例になっている
- この事例のように思った「ので」、この出来事も同様に理解できる

- (直前) Aの知人のフィリピン人の弟が働かず、家族の女性が働いて養っているという語り
- 「ハウスハズバンド」が海外では認知されているという話に続いて
- 3: 先行する語りに対する主張 (「日本では」 うまうまいかない)
- 4-7, 9: 主張をサポートする事例の語り

9「から」：事例が主張の裏付けとして示されている

ドキュメンタリー的方法 (Garfinkel 1967)：

- 個別・一度限りの事態を、なんらかの規範に沿って繰り返し起こるものとして位置付ける (という、我々が普段やっている) こと
- 目の前で起こった出来事を経験に結びつけ、「よくあること」として理解する
- 目の前の出来事をどのように理解すべきかの提示・主張